

第8回「中部地域半導体人材育成等連絡協議会」 議事要旨

会合概要

日時：令和7年12月8日（月）14:00～16:00
場所：中部経済産業局 2階 大会議室
形式：ハイブリッド開催（対面+Microsoft Teams）

議事（1）第1回在り方検討WGの結果共有と今後の検討事項

事務局より資料1（P1～12）、資料2及び資料3を用いて説明。

【事務局説明への補足】

- ・東海地域半導体実践人材育成拠点（以下、「東海コンソ」）に関して、今後学生をターゲットに進めるが、企業には講師の派遣や教材提供、工場見学受け入れ等、引き続きご協力いただきたい。
- ・北陸半導体コンソーシアム（以下、「北陸コンソ」）に関して、東海とは地理的に距離が遠いため、名古屋大学と話し合い、地域を分けてコンソーシアムを立ち上げることとなった。まずはリカレント教育に取り組むが、ゆくゆくはターゲットを広げて学生や若年層向けの取組をしていきたいと考えている。

【事務局案への意見（今後の活動内容等）】

- ・事務局案のとおり、自立化可能な部分はこれまでの関係性を維持しながら継続していけば良いと考えている。他方、東海コンソの対話型工場見学のような、これから初めて行うもの（＝自立化していないもの）への対応は、各社が各コンソに入りその都度決めていけば良いのか？

⇒ご認識の通り。東海コンソには当協議会以外の教育機関も参画するため、各社内で対応可能な内容を整理して効率的にやってもらえれば良い。

⇒従来講義の一環としてお願いしていた工場見学は、これまでのルートで引き続きお願いしたい。他方、対話型工場見学は、講義と異なり、広く東海地域から募集し、大学教員や企業の方々と一緒に作り上げていきたいと考えている。

- ・今後年1回、東海コンソの実施プログラムや参加人数等を当協議会に報告するため、活動評価を行っていただきたい。北陸コンソの活動報告も一緒にしてはどうか。

⇒北陸コンソも可能。

- ・「みえ半導体基礎スクール」はオンラインで開催しているため、北陸をはじめ、是非色々なところで活用してほしい。

・高専には団体や企業、地域コンソーシアム等、様々な所から情報が届く。情報の取捨選択が非常に難しい。当協議会やenSET（東海コンソ）の情報や教育の粒度（レベル感）をできれば揃えた形で高専に情報を流していただきたい。

- ・これまで協議会を通じた取組は採用面にも効果が出ているため、引き続き自走できる部分は取り組んで行きたい。他方、若年層への取組は、直接企業から小中学生へのアプローチが難しいところで、地元の桑名市の協力があり「親子理科教室」が出来ているため、こういった部分は引き続きお願いしたい。

【事務局案への意見（今後の参画機関の拡大）】

- ・参画機関が多くなると意思決定も難しくなる。協議会外の企業にも情報がしっかりと繋がるようにしておけば、参画機関の拡大は不要では。
- ・協議会の役割が「検討」⇒「連携、繋ぐ」に今後変わっていくことを踏まえると、参画機関を積極的に広げていく必要は無いのでは。

議事（2）令和8年度の具体的な活動内容

事務局より資料 1 (P13~14) を用いて説明。

【意見】

- ・金沢市の市立中学校では、今年から国語や数学と並んで「デジタル科」が教科に加わった。授業には、先端技術体験が含まれており、VR や AI 等の最先端なものに触れる取組を行っている。来年度は、金沢工業大学で半導体の技術体験を試行的に実施したいと考えており、そのための教材を作りたい。一度作れば繰り返し使うことができ、上手く行けば横展開も可能。
- ・名古屋大学ではこれまで講義の一環として工場見学を実施。今後は東海コンソとして、新たに対話型工場見学を実施予定だが、ミニ講義・工場見学・グループワークをセットで考えている。将来的には企業から評価され、予算（バス代）を出して貰い、自走化を目指しているが、初回の予算はこちらで補助してほしい。
- ・大学の講義で使用している教材（スライド）を広く公開したいが、著作権の問題で進んでいない。もし予算を貰えるなら、専門業者に依頼をして、オープンな教材を整備することが可能。
- ・東海コンソのスコープ外ではあるが、工業高校向けの取組は素晴らしいと思う。工場の人事担当者が特に興味を持つのでは。
- ・SSH 向けの取組について、予算面は教育委員会で工面されていることもあり、現状は課題となっていない。他方、探求学習の課題設定を考えるうえで、大学の先生や中部経済産業局の話を聞くことも高校生にとってためになるのではないかと思い、この点またご相談したい。
- ・先日桑名市より、小学3年生向けの社会見学の一環で 120 名の受入れ要請があり対応。小学生でもわかるレベル感にするために、みえ半導体ネットワークで作成した動画やクイズ、クリーンスーツを先生に来てもらう等の工夫をし、大好評だった。引き続き若年層向けの取組は依頼があればやっていきたい。
- ・先日高校向けの特別授業で講師を務めた際に、みえ半導体ネットワークの動画を使用した。講義⇒動画⇒講義とすると、話し手が変わることで飽きさせない効果が生まれた感覚。内容も三重大学により、分かりやすく説明され、ああいったものは有難く感じる。
- ・工業高校との連携に関して、東海三県のすべての高校を受け入れるのは相当難しいので、優先順位を付けたうえで接点を持ちたいと考えている。
⇒先日、東海地方の工業高校の電気関係の教員向け研修で 90 分の講義を行った。この場で例えば 30 分を半導体企業の方に話をして貰えればより広まると思った。先方からも工場見学のニーズがあると思う。今後情報を流していきたい。
- ・科学の祭典を三重県（四日市市）で開催したい場合、どのようにすれば実現可能か。情報があればほしい。
- ⇒三重開催もある認識だが、情報を集めてまた展開する。

議事（3）戦略産業クラスター施策について

地域未来戦略本部が進める戦略産業クラスター施策について、投影用資料を用いて事務局より説明。

議事（4）その他

世界半導体会議の仕組みと若年層向けに半導体の魅力を伝えるトーキングポイントについて、投影用資料を用いて JEITA より説明。

以上